

上天草市第3期教育振興基本計画(案)に係るパブリック・コメントの意見に対する教育委員会の考え方

1 実施概要及び結果

(1)募集期間 令和3年1月14日(木)～令和3年2月12日(金)

(2)意見件数 4件(1人)

2 意見の内容と教育委員会の回答

(1)意見を踏まえて計画案を修正するもの

該当なし

(2)計画案を修正しないもの

	項目	意見・提言(概要)	教育委員会の考え方
1	全体	第2期計画からの変化が見られず、これまでの計画の成果・課題を踏まえた計画になっているようには見えない。また、取り組み内容が具体化されておらず取り組むこと自体が計画になっているように見える。	・基本的には第2期計画の内容を引き継ぎつつ、既に実施した事業についての課題整理をしたうえで、作成した計画としています。 ・本計画は、方針に基づきどのような姿勢で取り組むかという大きな方向性を示した計画となっており、施策を進めるために行う具体的な事業については、予算と関連するため毎年事業化しています。
2	【基本方針1】 生きる力をはぐくむ学校教育の充実 【基本施策2】 確かな学力の育成 【施策(1)】 時代の変化や教育のニーズに対応した教育の推進	英語教育に関しての必要性についてはある程度理解することはできるが、その指標として英検を示すのであれば英検の受験を教育カリキュラムに組み込み、行政側で英検の全額受験料を負担するなどの積極的な取り組みが必要ではないか。 また、現状の社会的な英語力の指標としてはTOEIC などが重要視されており、内容的に中学生にはレベルが高いが、可否ではなく点数化され、英語学習のモチベーションコントロールに使用することができるとされることから、上天草市の中学生がTOEICを受験しているとなればグローバル化の取り組みのアピールにもつながるのではないか。	・貴重なご意見ありがとうございます。 ・本市の英語教育の推進に関しましては、小学校低学年から中学校に至るまでALT(英語指導助手)を派遣するなどして、英語授業の充実に努めております。 ・また、英検受験料については、令和2年度までは中学3年生を対象に受験料の2/3の補助を実施してきましたが、本計画が開始されます令和3年度からは中学1年生から3年生までに対象者を拡充し、補助事業(補助率2/3)を計画しています。 ・これらの他にも、自治体版英検IBA(英語能力判定テスト:日本英語検定協会)を小学校6年生から中学3年生までの児童生徒全員を対象に実施するなど、英語力向上への取り組みの充実に努めているところです。

	項目	意見・提言(概要)	教育委員会の考え方
3	【基本方針2】 学びを支える教育環境の充実 【基本施策2】 教育環境の充実 【施策(2)】 学校施設等の整備・充実	「児童生徒数は年々減少し・・・教育活動上様々な問題が生じる」という状況と課題の認識の項目があるが、該当項目に記載されている「問題」が本当に問題であるのかが疑問である。例として「クラス替えができない学校」という内容に関して何が問題なのか。20年前にも同様の学校は多数存在していたし、現在の社会的な状況としては「小規模学校の方が教育の質が高い」や「人数が少ないからこそできる教育(同年代だけではなく上下のつながり)」というものが一定の評価がされている側面もあるため問題であるのかが疑問。 また、現在は ICT 機器を活用するなどし、小規模学校における教育のデメリットを補えるのではないかと考える。小規模学校の方が児童生徒の「成績が高い」という話をよく耳にするが、上天草市でもこのようなデータは取得・分析が可能であると思うので、そのような観点からも教育計画を検討する必要があると思う。この問題提起に対する背景として学校の統廃合の計画というものがあるように思われるが、人口減少に歯止めをかけるためにも中心部以外の学校を残し、移住者がどこに移住しても近くで教育を受けられる環境というものを残していく必要があるのではないかと。	・小規模学校における教育の在り方については様々なご意見があると思います。確かに小規模校は、児童生徒一人ひとりの個別活動の活動機会を設定しやすいなどの少人数であることのメリットもありますが、「多様な物の見方や考え方、表現の仕方に触れることが難しい」、「人間関係が固定化しやすい」、「切磋琢磨する環境の中で意欲や成長が引き出されにくい」などのデメリットもあります。ICT 機器の活用等により教育条件の改善も期待できますが、学校の努力だけでは解決することが難しい課題もあります。活力ある学校づくりを行うためには、単に教科等の知識や技能を習得させるだけでなく、児童生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて思考力や表現力、判断力、問題解決力などを育み、社会性や規範意識を身につけることにより、一人ひとりの資質や能力を伸ばしていく体制づくりが必要であり、そのような教育を十分行うためには、一定の学校規模を確保する必要があると考えていますので、第2期上天草市公立学校規模適正化基本計画に基づき、保護者や地域の皆様のご意見を踏まえながら、学校規模の適正化の取組を進めてまいります。
4		校舎等の老朽化問題に関しては、耐震化工事や空調設備設置などを計画的に実施されているが、それらの工事と一緒に老朽化した部分を改修していれば急激な老朽化問題というようにならなかったのではないかと。古くなった部分を長期間放置(改修計画も進まず)していれば老朽化が加速するのも目に見える課題だったのではないかと。子供の安全という観点からも必要な改修を実施するなどしていれば問題も大きくならなかったのではないかと。	・貴重なご意見として受け止め、今後も安全・安全で快適な教育環境の確保に努めてまいります。

(※)誤字・脱字等の指摘については、文案の修正に反映させたいので、ここでは省略させていただきます。